

## 熊毛地区の課題について

○ふれあいセンター ～ 山根商店に出るまでの道路が狭く、夕方は中学生が集団で帰り、待ち合わせしたりし、車で通る時、危ない思いをする。今平地になっているので整理ができるとうれしいのですが……

○勝間、三丘地区のJAが2月で統合されると聞いている。熊毛地区の半数以上の人口がいる中での金融機関の廃止は大変不便です。ぜひコミュニティバス(小型ワゴンタイプでもよい)を走らせてほしい。

○熊毛公民館の前の花壇の整備をし、花を植えています。

これからの熊毛町づくりで一人でも多くの方に参加していただき、せめて一箇所でもみんなで協力し、美しい花を咲かせて町づくりをしてほしいと願っている。

○勝間下の山本商店周辺の道路工事がされていますが、追加で、新原商店から山本商店までのカーブを二重線等の安全対策をしてほしい。道路がカーブで見通しが悪く、よく反対車線に車のはみ出し、危ない思いをする。

## 熊毛地区の課題について

街からも人が集まり、地域の高齢者や若い人が参加しやすく、交流できる場所があればよいと思います。

コアプラザの実現で熊毛のシンボルを築きたいです。後継者家族が定住しやすい環境づくりがもっと必要だと思います。

(交通機関の問題、医療、遊び場所、農業)

以前に防災情報として連絡網が作成されたものが配布されていましたが、自治会長さんは毎年変わられますが、周知徹底していただきたいと思います。

## 熊毛地区の課題について

- (1) 休耕田をどうする。(このまま放置する?)
- (2) 高水駅と鶴見台の間に道路が建設されたが有効活用できる?
- (3) ゴミの不法投棄が多い。

※(1)と(3)は多少ラップする部分はあるかもしれない。

- (4) 熊毛には広いグラウンドがない。

◎熊毛地区は何で活性化させる、させられる?

- ・コアプラザが出来たら……………?
- ・鶴が多く飛来するようになったら……………?
- ・温泉で……………?
- ・今何にお金を使っている……………?

今、地域住民の方は何を思っているのでしょうか。

なんとか暮らっしよるから……………!

言うてもダメだから……………!

あきらめちよる……………!

(何かよくわかりませんが……………)

## 熊毛地区の課題について

小学生、中学生の子供の母親として、熊毛地区の課題を考えたとき、不登校生徒の問題、給食センターの問題などいくつか思いあたりますが、先日、母親クラブで勝間地区の公園の遊具点検を行った際に、老朽化等で危険な場所がたくさんあるのに親子で驚きました。総合支所に現状の写真は提出済みですが、なかなか改善も難しいらしく、良い回答が得られませんでした。

我が家の子供たちが小さい頃は、遊具も新しく、安心して遊びまわっていましたが、最近の公園利用者の方々に気の毒なほど古くなったり、落書きがあつたり etc です。

事故が起こってからでは遅いので、何らかの対策を立てていただきたいと思います。

また、教育問題も疑問に思う点が幾つかあります。

あすなる熊毛の在り方や、ゆとり教育としての学習時間の使い方(例えば熊毛中の場合、2年生の職場体験に4日間費やして、文化祭が一日だけ(今年から)だったり・・・)など、検討の必要があると考えます。

## 熊毛地区の課題について

### 1. 道の駅の新設

新設場所は、経費の節約できる「熊毛総合支所」とし、熊毛再生のシンボルとする。

特産品の選定をし、農産物等の地産地消に必要な野菜、果実の増産を行い、荒廃地を少なくして、地域振興を図る。また、市の庁舎はコアプラザと共同使用とし、中央集中を行い、情報発信の基地とする。

### 2. 有害鳥獣発生予防

猿とイノシシによる農産物の被害が多発している。

少子高齢化で農業用地の荒廃化が拡大しつつある中で、更に加速している。また、民家に入り込み食物を食い散らし、人間を脅かしていることから地域の人口が減少している。(限界集落)

3. 周南市100景の一つ烏帽子ヶ岳登山道入口から正蓮寺烏帽子公園までのアクセス道は、交通量の増加から舗装に亀裂が発生し、傷みが目立っている。一方ガードレールの無いことから車両等の河川への転落事故が発生、対策を要する。

### 4. 黒岩峡入口道の拡幅の必要性

夏期シーズンになると一日100台の行楽客があり、車の離合が難しい。地元の生活道でもあり、早急な対策が望まれる。

## 熊毛地区の課題について

合併後4年を経たことになる。この間、地域において顕在化した問題を取り上げてみる。

### 1. 行政サービスについて

(1)熊毛総合支所に出向いても対応できずに、本庁に相談するよう言われた。

①下水道工事の内容 ②税金についての問い合わせ

③加工申請等の申請(本庁に問い合わせも、地理が分からず対応できない—電話では)

### 2. 企業の倒産、雇用の機会減。—市は地域の雇用に責任を負うのか？

### 3. 課題

(1)税金、公共料金が地域により異なるが、今後どのようにするか。

(2)農地の荒廃による環境の悪化、放棄農地の対策必要。

(3)高齢化が進み、地域内での日常生活が困難になってきている。

買物、銀行、郵便局 etc へ出向くときの手段が無い。

交通量の増大により自転車は危ない。

### 4. 提案

・日常生活圏を重視した町づくりを進める。

自転車、徒歩、公共交通(JR.etc)を、中心となる移動手段とした施設計画。

・地域ごとの中心部で居住することの優位性を増す政策。

・コンパクトな中心部で経費の削減。

## 熊毛地区の課題について

近年の気候温暖化にともなう風水害の多発や、各地で発生している地震災害等により、全国の自治体で、災害に強いまちづくりをどうすすめていくか、大きな課題となっています。

熊毛地区においても、大雨による烏田川の増水をはじめ、活断層による地震対策等、災害対策を視点を置いた、まちづくりのあり方を検討していくことが重要だと思います。

「災害に強いまちづくり」という視点で、以下の項目をはじめ、熊毛地区のまちづくりを検討していくことを提案します。

- 大雨等の時、聞こえにくい現状の防災行政無線の改善。
  
- テレビの地上デジタル化は、双方向通信が可能であり、こうした通信技術を災害対策に活かすための調査・研究をすすめる。
  
- 災害を想定した道路整備のあり方。(道路が寸断された場合、たちまち地域が孤立するのではなく、迂回ルートが確保できるような道路網を検討する。)
  
- 被災時に一致協力できる地域のコミュニケーションをどう高めるか。

周南市新市建設計画（平成14年）及び周南市まちづくり総合計画（平成17年）において、熊毛地区の将来像が浮かんでこない。これは旧熊毛町時代からの課題であり、まずこの将来像を描き、これに添って現在抱えている諸課題を、解決しなければならない。

熊毛地区の将来像を描くにあたり、まず地域特性を挙げると、恵まれた自然環境に加えて広大な遊休地があり、熊毛インター・国道2号線等のアクセスが備わり好条件が揃っている。一方市の中心部は、地球環境悪化問題のなかでも、特に温暖化ガス排  
泄量削減は、全国平均の7倍というCO<sub>2</sub>を発生している周南コンビナートは、エネルギー多消費型産業であるだけに現状打破は、困難であり、快適な住環境ではない。

以上のことからだけでも、当地区の果たす役割は、浮かんでくる。総合計画の土地利用イメージ図に、当地区は郊外地区と中山間地区に位置付けされていることからみても、周南地域住民が、今後不安なく暮らせる地区として「快適に暮らせるまちくまげ」を将来像として提唱したい。中央地区区画整理事業完成後は、利便性の高いスマートタウンとして、地区の中心となるような整備が望ましい。

この将来像実現にあたっては、現在でも課題になっている医療・高齢者及び障害者（児）福祉の充実・地域経済の振興・水問題を含む生活環境の整備・地域文化の振興  
その他課題は山積している。

今後の審議会の当面の課題は、4年間審議の中心であった「コアプラザ熊毛」についても、機能面で追加を要する事項がある。更に「周南市再生戦略会議」が審議している三課題のうち「道の駅」建設と「給食センター」整備計画が、当地区の課題となるが、緊急課題として、熊毛地区の休日当番医診療制度廃止問題がある。旧熊毛町時代は、県下でも人口に対する医師数・病床数が、最低水準であった。この状況は、



合併後も、当地区だけを取りあげれば、ほとんど変わっていない。更に三丘診療所は近く廃止になる。飛び地に等しい当地区の現状から、医療体制が整備されるまでこの制度存続を審議会に提案したい。

最後に今後の研究課題として、「地域自治区」の設定を挙げたい。地方分権改革が目指すべき分権型社会においては、地域において自己決定と自己責任の原則が実現されるという観点から、団体自治ばかりではなく、住民自治が重視されなければならない。熊毛地区に自治区を設定することにより、近い将来周南地域の広域合併問題に直面した時果す役割も大きい。又合併により、当地区の抱える諸問題も解決できる部分が多くある。

# 熊毛地区の課題について

本審議会より建議されている下記2項が、緊急な熊毛地区の課題と考えています。

## 1、コアプラザ熊毛整備事業について

新市建設計画の根幹となる「21のリーディングプロジェクト」の一つに掲げられている「コアプラザ熊毛整備事業」は、本審議会から2回も建議されていますが、具体的な取組が未だに見えません。現状の問題点を精査し、1日も早い対応が望まれます。

## 2、熊毛地区の水問題について

光地域広域水道企業団の上水道計画が中止になり、今後は企業団の水利権を分割することで合意がなったとお聞きしていましたが、厚生労働省の担当職員の移動に伴って、その後の話が前に進んでいないとマスコミは報じています。

移動に伴っての遅れが何年もかかると言うことは、他に原因が有ると考えられ1と同じく、早く問題点を精査して1日も早い対応が望まれます。

以上

## 熊毛地区の課題について

以下の3項目を提案いたします。

### 1. コアプラザ熊毛の整備事業の推進

第一期、第二期の審議会でも建議、さらに庁内の検討チームまで結成され具体化が進んでおります。熊毛地区住民の一体感の醸成、そして地域の中心的な役割を担うコアプラザの早期実現は必須の状況です。今年12月の議会でも市長から熊毛地区の最重点施策として位置づけられています。

他地域の実情調査や勉強会も委員の皆さんと一体となって実行し、実現に向け努力したいと考えます。

### 2. 水道基盤整備事業の推進

第二期の審議会でも建議されたテーマです。地球温暖化による環境への影響が危惧されている昨今、生活基盤の水の大切さはいまさら申すまでもありません。今後井戸の渇水、有害物質の影響などが懸念されます。

21のリーディングプロジェクトでも水道基盤整備事業の推進が計画されています。安心して生活するための上水道の完備は、住民にとって必要不可欠です。美味しい水を安く提供し、住みよい熊毛のまちづくりに早期の実現を望みます。国や県そして光地域広域水道企業団との積極的な交渉により結果を出していただきたいと考えます。

### 3. さわやか熊毛『道の駅』事業推進

周南市東部地域活性化のため、さわやか熊毛『道の駅』設置を要望します。利用者の視点に立って企画、運営を行うものです。熊毛地区の物産はもちろん周南市内の特産品を販売し、活力あるまちづくりに貢献できるものと確信いたします。鶴の里熊毛、温泉のまち熊毛をアピールし、さわやか熊毛の実現に向けての提案です。

市民が市政に関心を持ち、主体的に発言し、提案することにより住んでよかったと思える協働(市民と市)のまちづくりが求められています。